

令和6年度 全建 技術研究発表会事例

応募締切：令和6年6月28日（金） ※エクセルデータのままご提出ください
 送付先：一般社団法人全国建設業協会 事業部
 e-mail：jigyo@zenken-net.or.jp

| | | | |
|------|----|------|--------|
| 所属協会 | 東京 | 技術区分 | 創意工夫部門 |
| | | 工事区分 | 土木 |

| | |
|----|---|
| 分類 | 【土木】 1. 施工管理：□安全 <input checked="" type="checkbox"/> 工程 □品質 <input checked="" type="checkbox"/> 原価 □環境(近隣対策・イメージアップ含む) □その他() 2. 工種：□土工 □基礎工 □仮設工 <input checked="" type="checkbox"/> 本体工 □その他() |
| | 【建築】 1. 施工管理：□安全 □工程 □品質 □原価 □近隣対策 □その他() 2. 工種：□仮設 □躯体 □仕上げ □外構 □その他 3. 目的：□環境対応技術 □地震対策技術 □リニューアル技術 □その他() |
| | 【環境・その他】 □温室効果ガス発生抑制対策 □3R対策 □生物多様性保全 □周辺環境への対策(騒音等) □過去の事例の応用 □その他() |

※分類は、該当分野の中から、項目を選びを入れてください。(同一分野より複数選択可)

| | |
|----------|--|
| 論文タイトル | 〇〇〇の●●による△△の改善事例 |
| 技術・工夫の概要 | 橋脚コンクリート打設時における△△に要する作業時間を〇〇〇の●●による技術を活用し、作業効率の向上を図った。 |
| 効果 | ●●の活用により、安全性を確保したうえで、作業効率が約20%向上した。 |

※タイトルは、応募内容(事例内容)が分かるように付けてください。

※技術・工夫の概要および効果は、技術内容とその効果を簡潔に、分かりやすく記入してください。

○担当者情報

| | |
|-------------------------------|----------------------------|
| (ふりがな) | どぼく たろう |
| 氏名 | 土木 太郎 |
| 所属会社 | 土建組株式会社 |
| 所属部署 | 土木部 |
| 役職 | 課長 |
| 住所 | 〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都△△区××1-1-1 |
| 電話番号(半角数字) 例) 012-345-6789 | 03-〇〇〇〇-×××× |
| 電子メールアドレス (半角英数字) | doboku@zenken-net.or.jp |

※電話番号は、令和6年11月末まで連絡が取れる番号をご記入ください。

個人情報の取扱について：応募いただきました個人に関する情報は、事例の取りまとめに関するもの(別途資料の提出依頼、出来上がった事例集の報告等)以外には使用いたしません。